

資金調達プログラム・ファクトシート

資本市場におけるインパクト投資

IFCの資金調達プログラム

IFCはトリプルAの信用格付を維持しながら途上国の包摂的かつ持続可能な経済成長を促進するために資本市場を通じて資金を調達しています。資本市場を育成すべく核となる通貨での起債、テーマ債、新興国通貨での起債を行っています。IFCは主に米ドルでの貸出を実施していますが、幅広い投資家へのアクセス、コスト削減、新興資本市場の発展を支援するために、多様な通貨での資金調達を行っています。

IFCの資金調達プログラムは、融資活動に応じ拡大しており、2026年度（2025年7月～2026年6月）の年間調達目標額は190～200億ドル限度です（割引債を除く）。

資金調達戦略は以下の事項に焦点を当てています。

- ・ 核となる資本市場における定期的なプレゼンスを確立すること。
- ・ オポチュニスティックかつ価格競争力のある取引を行うため、幅広い資本市場へのアクセスを確保すること。
- ・ 新興資本市場の発展を促進するために当該国の国内市場において現地通貨建債券を発行すること。
- ・ グリーンボンド及びソーシャルボンドに適切なプロジェクトの増加を支援すること。

柔軟性及び費用対効果を高めるために、調達通貨は国、投資家属性、年限の面において分散しています。2025年度、IFCは19種類の通貨にて、年限は1年より25年までに亘る借入を実施しました。

2025年度、米ドル市場はIFCにとり最大の調達先であり、総額の50%を占めました。IFCは米ドルのベンチマーク債の定期的な発行体であり、少なくとも年1回、通常10億ドルから20億ドルの規模の債券発行を行っています。IFCはオーストラリア・ドル、カナダ・ドル、ニュージーランド・ドル、英ポンド、香港ドル等でベンチマーク債の起債を行っています。2025年度、初の香港ドルのベンチマーク債に加え、IFCは英ポンド及びスウェーデン・クローネで過去最高額を調達しました。

IFCについて

世界銀行グループの一員であるIFCは、新興国市場の民間セクターに特化した世界最大規模の開発機関です。新興国において市場及び機会を創出するために、IFCは持てる資金、知見そして影響力を生かし世界100カ国以上で活動しています。居住可能な地球において貧困のない世界の実現に向け、民間セクターによる解決策の活用や民間資金の動員に取り組み、2025年度、IFCは新興国の民間企業及び金融機関に対し過去最高となる717億ドルの投融資を承諾しました。更なる情報は www.ifc.org をご参照下さい。



IFCの市場へのアクセスは非常に強固で高度に多様化されており、この結果、市場アクセスの質及び深さについて“AAA”格付が付与されています。同社は資金調達を多様化し、新しい資金源を開拓するパイオニアです。また、IFCは債券の買戻や早期償還も積極的に活用し、市場に流動性を供給しています。IFCはその広範な資金調達手法により、米国及び日本の個人投資家を含む、非常に大規模で多様な投資家基盤を有しています。

MOODY'S INVESTOR SERVICES, 2025年1月



図1: 2025年度資金調達実績（通貨毎）（単位：億ドル）

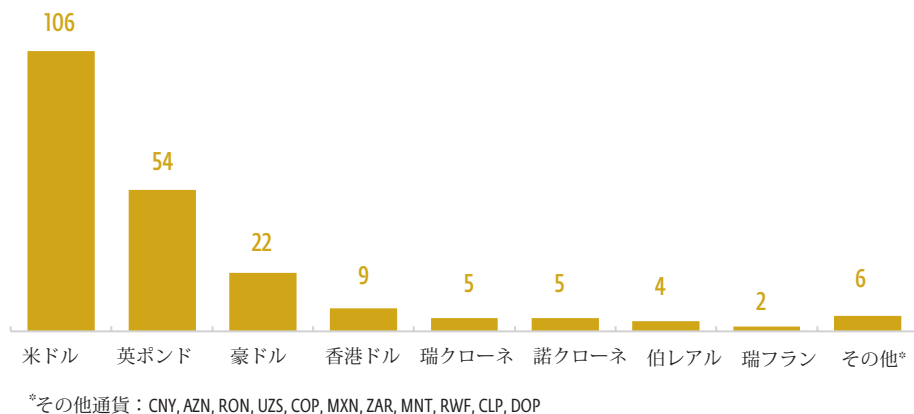
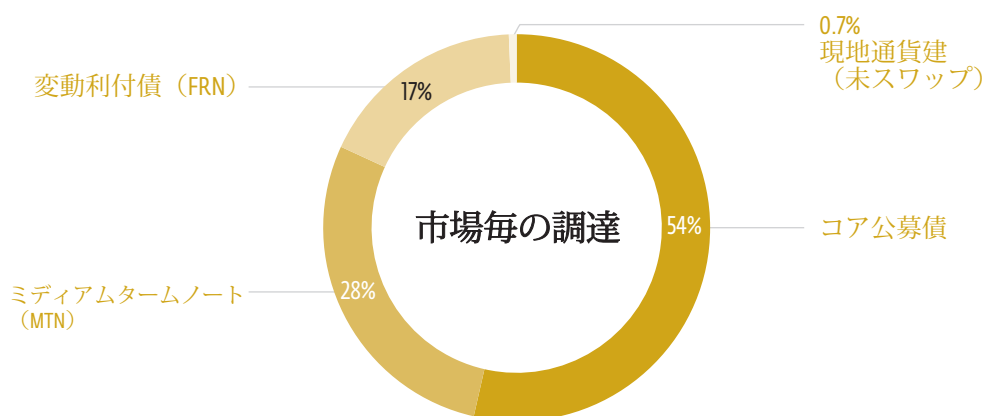


図2: 2025年度資金調達実績（市場毎）



IFCのグリーン及びソーシャルボンド・プログラム



2010年に開始されたグリーンボンド・プログラムを通じて2025年度までに21通貨にて149億ドルを調達しました。



2017年に開始されたソーシャルボンド・プログラムを通じて2025年度までに16通貨にて126億ドルを調達しました。

私達の提供する価値

- 世界銀行グループの一員であるIFCの使命は、居住可能な地球上において極度の貧困を撲滅し、繁栄の共有を促進することです。
- 私達は新興国の民間部門への投資を通じて持続可能な成長を促進します。
- IFCは60年以上に亘り新興国市場における経済成長・発展を支援するために資本市場において資金調達を行ってきました。
- IFCは経済・金融の不確実性が高まる中、景気循環を緩和する（カウンターシクリティカルな）役割を果たします。
- 私達は新興国の再生可能エネルギー、農業、保健、教育及び金融市場を含む幅広い分野においてアドバイザー・サービスも提供しています。

本資料はIFCが発行する債券の購入を提案・推奨するものではありません。

Photo credit: Dominic Chavez/IFC

連絡先

資金調達

funding@ifc.org

インベスター・リレーションズ

investors@ifc.org

AAA格付を有する強み

- 株主は186カ国、資本金の50%以上がAAA/AAの格付を有する国々
- 強固な資本基盤を確立、設立（1956年）以来の利益計上による内部留保の蓄積によるもの
- 十分な流動性バッファーを維持、保守的な流動性カバレッジ比率 (LCR) 及びレバレッジ比率によるもの
- 多様な投資家層にグローバルな資本市場においてアクセス可能
- 極めて分散された投融資ポートフォリオを保有、135カ国において2,100以上の企業と取引
- S&P及びMoody'sより継続してAAA/Aaaの格付を取得、1989年の初取得時より継続
- バーゼル規制の下で0%リスクウェイトを維持